

在宅医療・介護を考える

このまちで暮らす

生きる



▲訪問看護サービスを受ける小原イへさん(左)と娘さん(中央)

病気を抱えても、住み慣れた生活の場で療養し、自分らしい生活を続けたい。今回は、自宅にしながら医療や介護サービスを受ける在宅医療・介護について、ご紹介します。

在宅での医療と介護



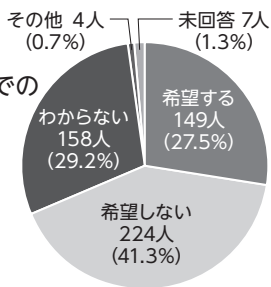
町内での介護保険認定者は、9月末現在829人で、年々増加しています。そのうち在宅で介護サービスを受けている方はおよそ580人と、多くの方々が自宅で介護サービスを受けながら過ごしています。

家族の負担になりたくない

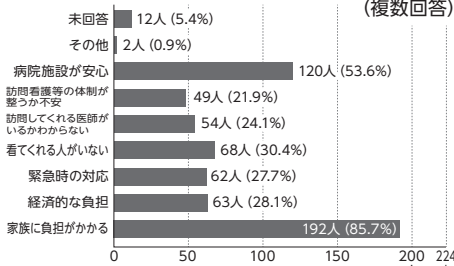
町では今年の7月に在宅医

在宅医療・介護に関する調査

Q. 終末期に、自宅での療養生活を希望しますか



Q. 自宅での療養生活を「希望しない」理由 (複数回答)



住民基本台帳に登録されている40歳以上の住民1,000人を無作為に抽出。回答542人。アンケート結果は町ホームページに掲載しています。

療・介護に関するアンケート調査を実施しました。アンケートで「あなたが終末期となったときに、自宅での療養生活を希望しますか」の質問では、「希望しない」と回答した方が41%で一番多く、次に「わからない」との回答が続きました。自宅での療養生活を「希望しない」理由としては、「家族に負担がかかる」と回答した方が85%と多くいました。

一方、厚生労働省の調査によると、国民の60%以上が、終末期は自宅での療養を望んでいるとのデータがあります。自宅での療養を望みながらも、在宅医療や介護がどのようなものか分からない方、また周囲の負担を考え希望し

Interview

利用者の声

寝たきりの母を介護する小原さん

不安のあった介護生活を 周囲の支えで楽しみながら

102歳の母を介護する小原さんに在宅医療と介護について、伺いました。

母は外に出かけるのが好きで、90歳くらいまでバイクに乗ったり、ゲートボールにも参加していました。しかしゲートボールの最中に転倒し、杖での生活になり、いまは寝たきりです。介護認定は一番重い要介護5で、4年ほど前からさまざまな医療・介護サービスを利用しています。

現在は月に一度、東庄病院の先生が訪問診療してくれます。訪問看護サービスは週に一度、健康チェックや口腔ケア、排便管理、傷や床ずれの処置などをお願いしています。寝たきりの母を病院へ連れて行くのは大変なので、家で専門家に処置してもらえるのは助かりますね。相談にも乗ってもらっています。

介護サービスは、ほぼ毎日ホームヘルパーの方に来ていただき、排せつの支援をお願いしています。デイサービスを週2日、また月に1~2度、10日間ほどショートステイにも行っています。

もともと出かけることも、人と会うことも好きでしたので、本人も楽しんでいるようです。私も母が介護サービスを利用しているときには、自分の時間を楽しむようにしています。

食べ物は飲み込みやすいようにおかゆと、ミキサーにかけたおかずを7つほど用意し、飽きないようにしています。はじめは分からない、知らないことだらけで不安でしたが、できることは自分でやり、できないことはケアマネジャーの方と相談しながら、在宅医療・介護サービスを利用しています。母には頑張って105歳を目指してほしいと思っています。



▲部屋には目で楽しめる工夫も

ない方が多くいるようです。
在宅医療・介護の利点

最大のメリットは、住み慣れた家など普段と同じ生活を続けながら療養できることにあります。通院のための移動時間や待ち時間もなくなり、また一般的に入院治療よりも費用負担が減ると言われています。

しかし家族が長期間にわたって介護を行う場合は、精神的・肉体的な負担が大きくなるので、専門家と相談して無理のないプランを立てることが大切です。

**地域包括支援センターが
中心的な役割を担う**

超高齢社会の日本は、今後医療や介護を必要とする人が大きく増加することが予測されます。在宅での療養も、家族の負担を考えるとなかなか決断できない場合もあるかもしれません。そこで、地域の住民や専門職の人たちが連携を取りながら、在宅での療養を支えていくための取り組みを推進していくことが重要になります。

在宅医療・介護において地域の調整役となり、相談窓口

地域包括ケアの5つの構成要素

地域包括ケアシステムは、住まい・医療・介護・予防・生活支援の5つが相互に関係しながら、一体的に提供されます。本人の選択が重視され、本人・家族がどのような心構えを持つかを基礎ととらえ、生活の基盤となる「住まい」、その中で満たされる「介護予防・生活支援」、専門的なサービスである「医療・看護」「介護・リハビリテーション」「保健・福祉」が効果的にかかわり、尊厳ある自分らしい暮らしの実現を支援しています。



となるのが、地域包括支援センターです。在宅医療・介護についての要望や悩み事があれば、まずご相談ください。問い合わせ

地域包括支援センター
☎ 3155
⑧ 3155